

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 145	提案機関名 環境農政局農政部畜産課
要望問題名 健康増進に役立つ畜産物の生産技術の開発	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 近年、食品の栄養面や美味しさだけでなく、病気などを予防する「機能性」が注目されており、畜産分野でもこの夏、熱中症予防としての牛乳が注目されている。 かながわブランドデザインにおいても、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現にむけたプロジェクトの一つとして、医食農同源の考え方に立った、健康増進に役立つ食の研究や県内産農産物の活用などにより、未病を治す取組みの推進が位置付けられている。 一方、畜産分野においては、飼料自給率の向上、飼料費の低減のために地域の食品産業等から排出される食品副産物を家畜飼料として利用する技術についての研究が進められており、既に飼料として利用されているが、食品副産物を栄養面に優れた餌としての利用だけでなく、それを給与した畜産物を食べることにより健康となるような機能性を持つ食品副産物の調査及び、機能性を持つ畜産物の生産技術の研究とともに機能性をより高め、美味しさを引き出す食べ方(調理方法)についても研究をお願いしたい。また、全国、世界的な研究実績から、畜産物に機能性を付与する飼料等について、その種類、給与量、給与方法、効果等を調査し情報提供をお願いしたい。	
解決希望年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>
対応を希望する研究機関名	農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター <input type="checkbox"/>
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部署	企画研究課
対応区分	実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名 高品質牛肉の生産技術の開発、高品質豚肉生産のための要素解析と品質評価への応用、食品残さの鶏への飼料化技術の確立			
対応の内容等 機能性を持つ畜産物の生産技術の研究では、肉牛と豚で、トウフ粕あるいはパンくず等を利用した食品残さ飼料の給与試験で、肉質成分における機能性成分を調査する予定です。また、採卵鶏では、DHA等を多く含む鯉節だし粕や抗酸化作用があるカテキンを含むウーロン茶粕を原料とした食品残さを用いて、鶏や卵への機能性を期待した飼料化試験を実施しています。 乳牛では、トウフ粕や全粒乾熱加熱大豆の給与(共役リノール酸)、ハーブ給与(抗菌抗酸化成分)、トレハロース給与(抗酸化成分)、夜間搾乳(メラトニン含量の増加)などが各地で研究され、一部は商品化されています。機能性成分を含む生乳のみを集乳し処理、加工する必要がありますので、現段階では当所では研究に取り組んでいません。 食品副産物の機能性調査については、現在実施している試験の中で情報収集していきます。なお、調理方法の研究については当所では実施できませんので、今後、他の試験研究機関との連携を検討していきます。			
解決予定年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
備考			